

アブック社なら、
こんなバージョンアップがご提案できます！



レイアウトが生まれ変わる！

- 多国語を併記することで、外国の方にもわかりやすく。
- 色覚バリアフリーやJIS化されたピクトグラムを使用。



メンテナンスフリーの素材をチョイス！

- サインに使用する部材を、耐久性の良いものに変えることで、メンテナンスの手間を省けます。



木材から **ステンレス + 合成木材** に！

スチールから **アルミ** に！

木材から **アルミ** に！



参考価格 ¥440,000 (施工費含む)

参考価格 ¥140,000 (施工費含む)

参考価格 ¥150,000 (施工費含む)

症状に合わせた色々なバージョンアップがあるよ！



Before

経年により表示面が劣化している
ピクトグラムしか表示がない

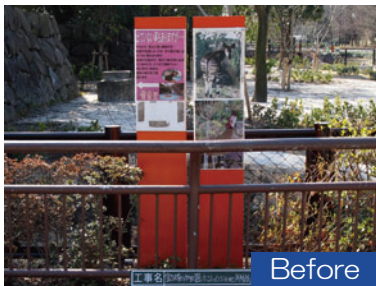


After

バージョンアップの Point

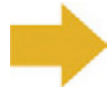
- 本体素材 木材→再生プラスチックへ
- より現実に即したピクトグラムに変更
- 4カ国語表記によりアジア系観光客の増加に対応

【参考金額】
¥87,500 (施工費含む)



Before

表示がパウチ貼り
人気のオカビに合わせて他とは違うアクセントが欲しい！



After

バージョンアップの Point

- 2基のサインを1基に集約することでオカビの原寸を表現
- 鏡を付けてオカビと自分の舌を比較できる仕掛けを追記

【参考金額】
¥205,000 (施工費含む)



Before

表示面の劣化、背景と同色で見にくい
表示板が薄くて通行人がぶつくと危険



After

バージョンアップの Point

- 目的施設のイメージカラーを用いて統一性を出し、背景との色差をつけて見やすくした
- 表示板の厚みを2mm→35mmにして通行人がぶつかった時の危険を軽減

【参考金額】
¥230,000 (施工費含む)



Before

退色し、チョーキングが起きている
表示が見えにくく、地図情報も古い



After

バージョンアップの Point

- 本体を地域のイメージカラーで再塗装
- 地図情報の更新、多国語表記
- コントラストをつけて見やすくした

【参考金額】
¥180,000 (表示板作成および塗装)



Before

今まで必要な情報がなかった



After

バージョンアップの Point

- 緊急時に使用できる門を周知
- 3.11 東日本大震災で効果を発揮した
- 蓄光仕様で夜間にも対応

【参考金額】
¥100,000 (施工費含む)

他社製品についてもお気軽にご相談下さい！

点検による改修事例を紹介しよう！



① 案内サイン改修（本体） 件名：新宿御苑母と子の森

■点検結果

H	b	165s	点検日	2012/07/23		
場所番号	機能番号	配置番号	サイン名称	案内板	見出し	新宿御苑 母と子の森 案内図
本体材質:	木 防腐処理なし		● 塗装に関する総合判定	-	備考	塗装なし
表示基板:	ステンレス		A: 再塗装の必要がない			
仕様:	インクジェット		B: 部分的に塗装が必要			
板サイズ:	W寸法	H寸法	本体高さ			
	1500	1050				
			● 劣化	D	備考	
			A: 健全な状態			
			B: 軽微な劣化がある状態			
			C: 劣化があり部分修繕が必要な状態			
			D: 主要部材が劣化し撤去・修繕が必要な状態			



施工前

本体が朽ちて倒れてしまっている



施工中

新規基礎を打設、支柱を新しくした



施工後

既存の表示板を再利用し、本体を更新

② 案内サイン改修（表示板） 件名：秩父多摩甲斐国立公園

■点検結果

定期点検表		管理番号	No. 6
住所	山梨県市北社市須玉町比志3730-3	所在施設名	みずがき湖ビジターセンター
点検者	株式会社アボックス社	点検日	2011年11月28日
製造社	株式会社アボックス社	設置年月日	平成 13年 3月 日
現況写真	配置図	経過年	年月
		● 塗装に関する総合判定	
		A: 再塗装の必要がない	
		● B: 部分的に塗装が必要	
		C: 全体的に塗装が必要	
		備考	
劣化不具合等箇所図		劣化	
		A: 健全な状態	
		B: 軽微な劣化がある状態	
		● C: 劣化があり部分修繕が必要な状態	
		D: 主要部材が劣化し撤去・修繕が必要な状態	
		備考	表示板面設置方位：南向 案内板等表示板の取替が必要



施工前

表示面の退色



施工中

表示面の貼り替え



施工後

表示内容もデータを更新

サイン専門メーカーならではのノウハウで点検するよ！



アポック社のサイン点検の規準とは？

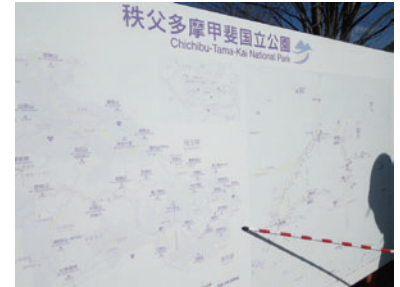
表示面劣化点検

退色、いたずら等

表示面の印刷の退色状況、視認状況などを点検します。



表面コート剥離

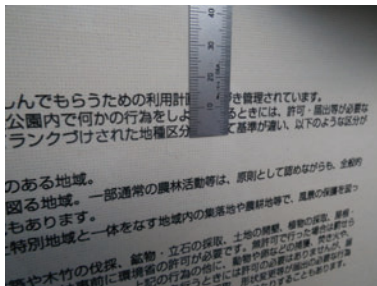


著しい表示面の退色

表示面規準点検

誤表記、バリアフリー診断等

サインの情報発信が正確に適切に行われているか、ユニバーサルデザインなど一定の水準を満たしているなどを点検します。



最小文字高の確認 5mm以下NG



表示板向き確認・ややNG

本体劣化点検

構造部材の劣化・塗装診断等

支柱、基板、基礎の劣化状況を日本公園施設業協会の遊具安全規準S:2008に準じて点検します。



本体のビスの突出



木材の腐朽・カビ

本体規準点検

形状、設置状況等

支柱、基板製作時及び基礎設置の状況を日本公園施設業協会の遊具安全規準S:2008に準じて点検します。



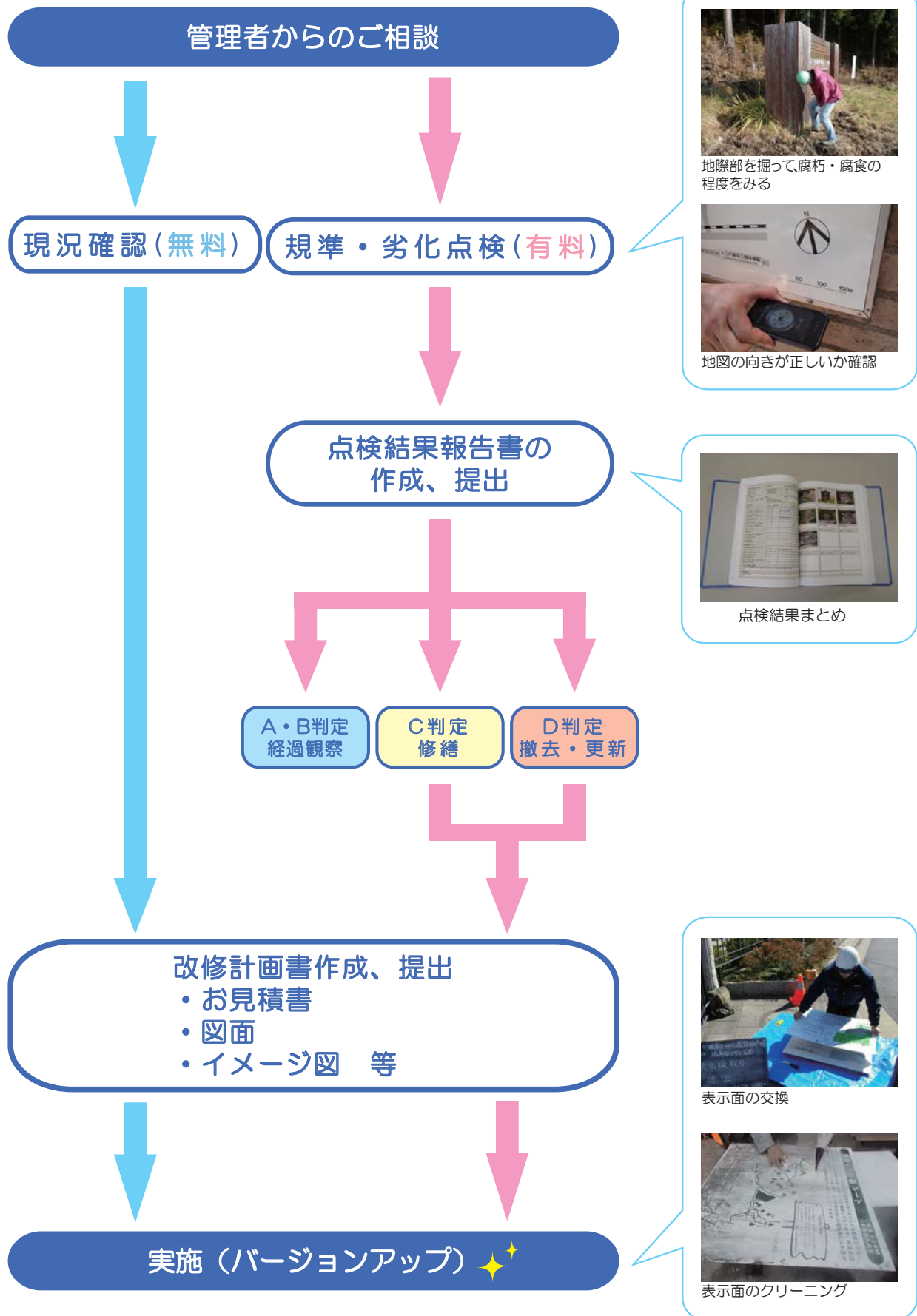
地際部の足がかり・基礎コンクリート露出



表示面角の引っ張り

S:2008にサインの点検規準はありませんが、協会が定めた公園施設製品整備技士、公園施設製品安全管理士がサインの種類や形状、素材、利用年数を踏まえ、目視・触診・聴診・打診・計測等の点検を行い、サインの状態を診断し、今後の修繕・撤去及び新規計画を適切にご提案いたします。

バージョンアップまでの流れを紹介しよう！



最後に、その他のバージョンアップを紹介するよ！



防災機能の追加！

- 案内板の改修の際に防災情報を付属させることで、サインの防災機能が充実します。

防災案内板



海拔表示



避難誘導表示



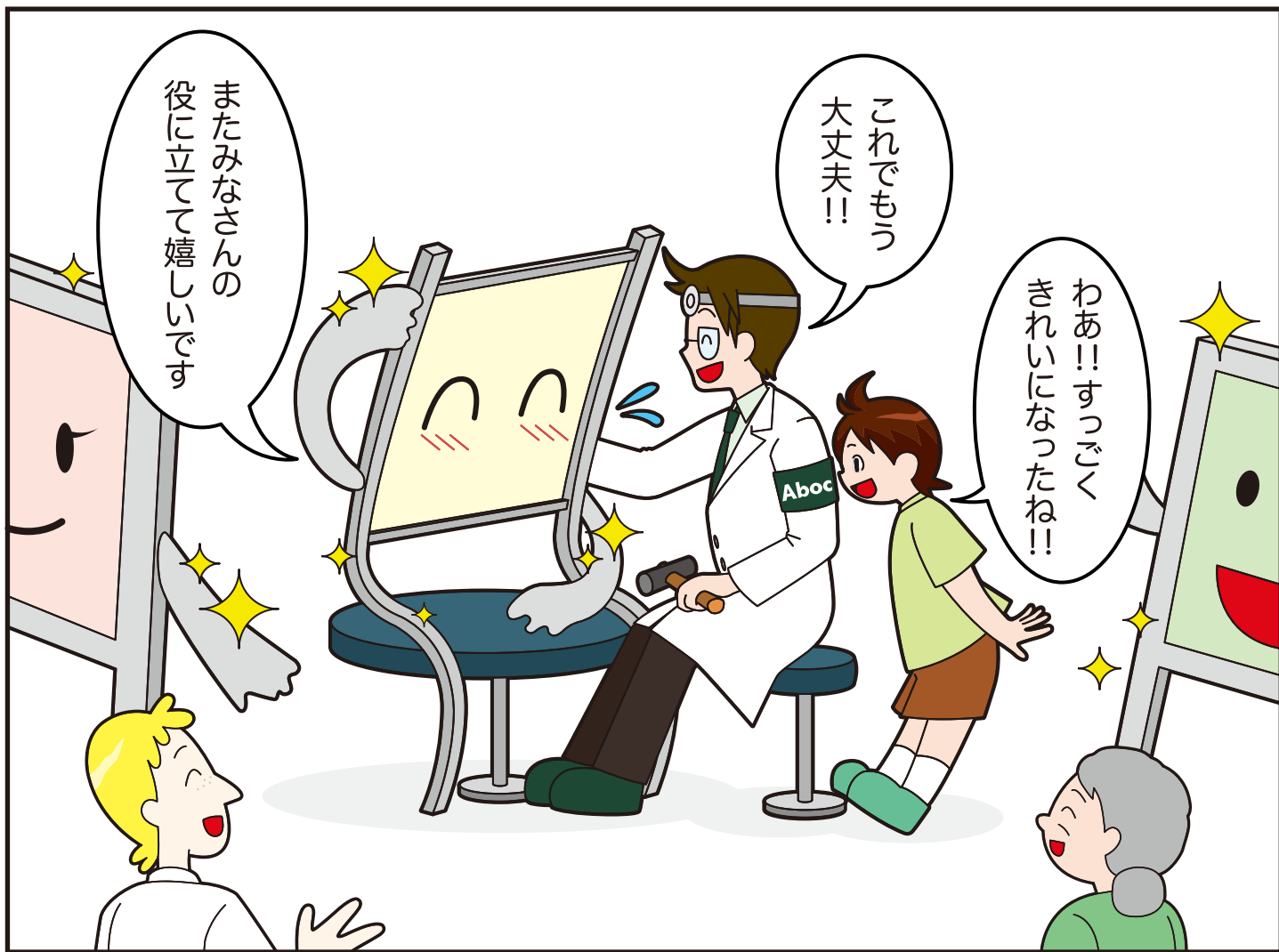
コンクリートいらずのエコ工法！

- 本体の新設や改修の際に、コンクリート基礎を使用しないグラウンドスクリューをお勧めします。環境にやさしく、さらに工期を短縮できます。



色々できるんだね！





またみなさんの
役に立てて嬉しいです

これでもう
大丈夫!!

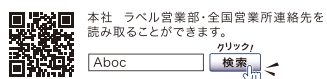
わあ!!すっごく
きれいになったね!!



—そして街には平和が戻り、
サインドクターは次の街へと
旅立っていった—



また定期的
に点検に
伺いますよ!!



本社 ラベル営業部・全国営業所連絡先を
読み取ることができます。

●本社

〒247-0056 鎌倉市大船2-14-13
TEL.0467-45-5110 FAX.0467-45-5132

●東京営業所 環境サイン™ 研究所

〒105-0003 東京都港区西新橋1-17-8 須田ビル2F
TEL.03-6205-4456 FAX.03-6205-4457

●大阪営業所 環境サイン™ 研究所

〒540-0032 大阪府大阪市中央区天満橋京町3-5 福助ビル901号
TEL.06-6942-8466 FAX.06-6942-8449

●仙台営業所 環境サイン™ 研究所

〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町3丁目8-17 日東ハイツ906号
TEL.022-393-8374 FAX.022-393-8536

●東北営業所 環境サイン™ 研究所

〒020-0807 岩手県盛岡市加賀野1-14-3
TEL.019-622-4520 FAX.019-622-4533

●北海道営業所 環境サイン™ 研究所

〒065-0032 北海道札幌市東区北三十二条東16丁目1-5 ノースパレス元町606号
TEL.011-374-6921 FAX.011-374-6931